

インカレテレインコントロールに関する申し合わせ

1. (目的) 日本学生オリエンテーリング選手権大会(以下インカレ)の公正を保ち、かつオリエンテーリング競技者に良質の地図とテレインを利用する機会を確保するため、日本学生オリエンテーリング連盟(以下日本学連)理事会は、テレインコントロールを行う。
2. (諮問機関) テレインコントロールのために、理事会の諮問機関としてテレインコントロールワーキンググループ(TCWG)を設置する。TCWGのメンバーは理事及び技術委員他から選ばれ、その人選に関して、幹事会に報告する。TCWGのメンバーは議論された内容の分、将来に渡ってインカレに特定の加盟校の一員(チームオフィシャル)として参加することができない。TCWGの座長は担当理事がこれを務める。
3. (指定の段階) 将来開催されるインカレの競技の公正を保つために、当該インカレでの競技(予定)者に対して、使用を制限するテレイン(0-mapが作成されている地域)を指定する。使用制限に以下の2つの段階を設ける。
リザーブ 競技性の高い特定の行事に限り既成地図の使用を認める。
クローズ 10項で述べる例外をのぞき競技予定者の立ち入りを禁ずる。
4. (指定) リザーブテレイン、クローズテレインの指定はテレインコントロールワーキンググループの諮問を受け、理事会がこれを決定する。
5. (解除) リザーブテレイン、クローズテレインの指定解除はテレインコントロールワーキンググループの諮問を受け、理事会がこれを決定する。
6. (外部団体との交渉) リザーブ・クローズテレインの指定に当たって、日本学連以外の団体や機関が既成地図の販売や管理を行っているテレインについては、理事会が当該団体や機関との交渉を行う。
7. (指定期間) インカレ競技開催予定地は、原則として2年間クローズする。また、指定地域を当該行事の3年前までに発表し、ロングについては2年前の1月から1年前の1月、ミドル・リレーについては3年前の4月から2年前の4月までの1年間はリザーブとして使用を制限する。インカレロング競技開催予定地は2年間のクローズを原則とするが、大会イベントアドバイザーが認めればより短いクローズ期間でよい。
8. (リザーブテレインの使用) 日本学連及び地区学連の主催する公共性と競技性の高い行事での使用が認められる。普及、講習、娯楽を目的とした行事での使用は認められない。日本学連、地区学連の主催する以下のような行事での使用が想定される。
 - ・地区学生選手権大会、インカレ代表選手選考会
 - ・世界学生選手権代表選手選考会、世界学生選手権代表選手強化合宿このほか、地区学連によりクローズされていない場合、外部団体(学連加盟団体をのぞく)からの申請により競技性の高い行事での使用のために地図を販売することがある。このような行事への学連加盟員の参加は制限しない。
9. (リザーブテレインの使用申請手続) 地区学連が日本学連リザーブテレインを利用して前項の行事を行う場合、地区学連によるクローズ指定と同時に(必ず当該行事の1カ月以上前に)、日本学連事務局に利用申請書を提出しなければならない。利用申請があった行事に対してはテレインコントロールワーキンググループと担当理事が確認の上、承認書を発行する。日本学連主催行事(世界学生選手権関連)は、技術委員会の担当者の申請

により、テレインコントロールワーキンググループと担当理事が確認する。外部団体のリザーブテレイン利用に関しては担当理事が窓口となる。

いずれの場合も、行事開催にあたっては所定の書類を日本学連及び該当都道府県協会に提出すること。

10. (クローズテレインの一時利用) クローズテレインは、その指定期間中であっても、技術委員会の諮問を受け、双方の大会コントローラーと理事会が承認した場合、異なる競技種目のインカレを開催することができる。この場合、第2のインカレの競技予定者はクローズ指定後は第1のインカレの競技以外で当該テレインに立ち入ることはできない。また、当該テレインは第1のインカレの2年前から第2のインカレの終了まで継続してクローズ指定とすることができる。

11. (地区学連によるリザーブ・クローズ) 地区学連は、インカレ代表選手選考会等の競技の公正を保つため、独自にリザーブ・クローズテレインを指定する事ができる。外部団体の作成した地図をクローズする場合は、当該団体と慎重に交渉を行い、十分な了解を得てから指定しなければならない。

補足事項：

(TCWG メンバー) 2005.2/11 現在

山川克則 (副会長)

木村佳司 (インカレロング担当理事)

土方 隆 (インカレミドル・リレー担当理事)

中村弘太郎 (元技術委員)

落合公也 (東海地区担当)

山口尚宏 (技術委員)

土屋周史 (関西地区担当)

白土英治 (日光・矢板地区担当)

吉村充功

米本路憲 (北陸地区担当)

(過去の経緯を示す資料)

< 第36回日本学生オリエンタリング連盟

総会資料 >

2001.3.11

今後のインカレ開催予定について

テレインコントロールワーキンググループ
(当時座長 大井和之 (当時理事))

インカレはずっと最高の地図と競技の場を提供する大会として、学生OBの運営によって開催されてきました。しかし、参加者の減少は止まらず、逆に大会ごとに実行委員会を組織して運営する方式での運営者への負担は増大する一方です。特に地図作製に関しては、競技者の地図の精度への要求が高まる一方で、それに耐える地図を描くことが少数の熟練者に依存する傾向にあります。

このような現状で、インカレの開催を継続していくために、以下のような改革を提案します。

2004年度から地図作製の負担の軽減を主目的に、ロング競技(現在のクラシック)を秋季に、ミドル競技(優勝設定時間約30分、現在のショート)とリレー競技を春季に開催する。ミドル&リレーイベントは、1:1000で、A3の地図1枚で開催可能であり、ロングイベントは国際イベントを含む他のイベントとのジョイント開催が可能となる。

インカレ実行委員会については、大会ごとに実行委員会を日本学連の臨時委員会として組織する現在の方式にこだわらず、常設委員会の設置などインカレの継続開催に適した組織作りを、2002年度中をめどに検討していく。

愛知県のテレインについては世界選手権の開催準備のためクローズされているテレインのうちモデルマップとして公開される地図を利用してインカレを開催する。

< 加盟員への意見募集資料 >

2005.1.23

今後のインカレ開催地に関する意見募集

(山口尚宏)

TCWG・理事会が1/9の幹事会で示したインカレ開催地原案について、加盟員からの意見を募集します。『インカレテレインコントロールに関する申合せ第4条』により、インカレ開催地はTCWG(テレインワーキンググループ)の諮問を受け、理事会が決定することになっています。今回の意

見募集はインカレ開催地原案に対し、加盟員からの意見を募集し、よりよいものとするためのものです。意見は総会 1 ヶ月前の 2/14 まで募集し、その後 TCWG・理事会で検討の上、インカレ開催地原案を再度 3/14 の総会で提示します。

インカレ開催地は日本学連の活動に極めて重要な影響を及ぼすものです。集客性，採算性，地図精度などを踏まえた建設的な提案をお願いします。

< 幹事会説明資料 >

2005.6.5

リザーブ・クローズ時期の変更

(山口尚宏)

学連幹事からの意見を受けて、リザーブ・クローズトレインの指定を次の理由により、次の通り変更します。

年度		秋季	春季
		ロング	ミドル・リレー
リザーブ 開始	旧	3 年前	3 年前
	新	2 年前 1 月	3 年前 4 月
クローズ 開始	旧	2 年前	2 年前
	新	1 年前 1 月	2 年前 4 月

本大会の日程に左右されていて不明確だった
リザーブ・クローズ期間を明確にするため
春季インカレの直前合宿やセレクションを最新
トレインで行うことができるようにするため